

『国葬の日』
大島新監督・榎谷茂博さん
舞台挨拶 10/7(土) 15:10~上映後

○ **大島新** ドキュメンタリー監督、プロデューサー
 1969年、神奈川県藤沢市生まれ。1995年、早稲田大学第一文学部卒業後、フジテレビ入社。『NONFIX』『ザ・ノンフィクション』などドキュメンタリー番組のディレクターを務める。1999年、フジテレビを退社、以後フリーに。映像会社ネッツゲン代表。プロデュース作品に『ぼけますから、よろしくお願ひします。』など。

○ **榎谷茂博** チューリップテレビ『わたしは白鳥』監督
 富山県出身。1997年に北陸チューリップに入社、チューリップテレビ報道制作局に転出。2014年制作の『究極〜新幹線を支える曲げガラス〜』が日本民間放送連盟賞エンターテインメント部門で優秀賞。2017年制作の『ゴミノヒカリ〜未来を照らすアルミゴミ発電〜』科学放送高柳賞で優秀賞など受賞。

あのふたりがほとり座に帰ってきた！
五百旗頭幸夫さん
 (石川テレビ放送)
砂沢智史さん
 (チューリップテレビ)
トークイベント
10/14(土)13:40~上映後
 地方政治の不正に挑み、報道によって人間の狡猾さと滑稽さを浮き彫りにする様子を描いたドキュメンタリー『はりぼて』共同監督のお二人によるトークイベント！

『福田村事件』
森達也監督
舞台挨拶
10/22(日) 14:50~ 上映後

○ **森達也**
 1956年5月10日、広島県呉市生まれ。95年の地下鉄サリン事件発生後、オウム真理教広報副部長であった荒木浩と他のオウム信者たちを被写体とするテレビドキュメンタリーの撮影を始めるが、所属する制作会社から契約解除を通告される。最終的に作品は「A」のタイトルで98年に劇場公開され、さらにベルリン国際映画祭など多数の海外映画祭に招待されて世界的に大きな話題となる。99年にはテレビドキュメンタリー『放送禁止歌』を発表。2001年には映画『A2』が山形国際ドキュメンタリー映画祭で特別賞・市民賞を受賞。映画作品は他に『311』(11)、『FAKE』(16)、『i〜新聞記者ドキュメント』(19) などがある。近著は「千代田区一番一号のラピリス」(現代書館)。



『アアルト』公開記念トークイベント
人に寄り添うデザインは、いかにして生まれたか。

登壇者 **10/22(日) 11:35~ 上映後**



○ **稲塚 展子** 富山県美術館学芸課副主幹(学芸員)
 高岡市生まれ。富山県立近代美術館、県民会館、富山県庁を経て現職。近代美術館からコレクション『20世紀の椅子』に、県美術館ではデザイン・コレクション展示室に携わる。主な担当展に『時代の共鳴者〜辻井喬・瀧口修造』(2016年)、『世界ポスタートリエンナーレヤマ』(2018年、2021年)など。『倉俣史朗のデザイン』展が2024年2月開催予定。

○ **渡邊 雅志** 富山大学 芸術文化学部 准教授
 1973年新潟県生まれ。東北芸術工科大学大学院修了後、岐阜高山の工房に勤める。2010年より現職。専門はデザインで、生活雑貨をはじめ、家具、ポスターやパンフレットなど、幅広い分野の作品を手掛ける。2021年に三井アウトレットパーク北陸小矢部内にオープンした、アート&デザインコミュニティスペース「Meets GEIBUN」のコーディネーターおよび監修を担当。

バカ塗りの娘
鶴岡慧子監督
舞台挨拶
10/21(土)10:00~上映後

自主企画 **10/29(日) 19:30~**
島倉和幸を偲ぶ
映画『まちむすび』
無料上映会
 [2018 / 日本 / 1時間 27分]
 監督：清水智紀

9/30土	10/1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8日	9月	10火	11水	12木	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木	20金				
サントメール 10:00-12:10			休館日	almost people 10:00-12:25			ふたりのマエストロ 10:00-11:35			ふたりのマエストロ 10:00-11:35			ふたりのマエストロ 10:00-11:35			ことの次第 10:00-12:15								
ゴールデン 12:30-14:15	ジャンヌ 12:30-16:00	東から 12:30-14:30		囚われの女:オルメイヤー 12:45-14:50	東から 12:45-15:05	東から 12:45-14:45	未来は裏切りの彼方に 11:55-13:40			オオカミ+骨 11:55-13:15			オオカミの家+骨 12:35-13:55			ふたりのマエストロ 12:35-14:10								
さらば、 14:35-17:35	さらば、 16:20-19:20	さらば、 14:50-17:50		サントメール 15:10-17:20	サントメール 15:25-17:35	サントメール 15:05-17:15	国葬の日 15:10★16:45	国葬の日 14:00-15:35			国葬の日 14:00-15:35			国葬の日 13:40★15:15			国葬の日 14:15-15:50			国葬の日 14:30-16:05				
almost 17:55-20:20								ロックストック 18:20-20:15	ロック、ストック 15:55-17:50				ことの次第 16:20-18:35			ふたりのマエストロ 16:40-18:15			オオカミ+骨 17:20-18:40					
almost 20:40-23:05	almost 19:40-22:05	almost 19:00-21:25						ロックストック 20:35-22:30	ロック、ストック 18:10-20:05	ロック、ストック 19:00-20:55			オオカミ+骨 18:55-20:10			オオカミ+骨 18:35-19:55			ふたりのマエストロ 19:00-20:35			オオカミの家+骨 19:00-20:20		

21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29日	30月	31火	11/1水	2木	3金		
バカ塗り 10:00★12:05	ミャンマー・ダイアリーズ 10:00-11:15						バカ塗り 10:00-12:05	福田村事件 10:00-12:25				バカ塗りの娘 10:00-12:05			
ミャンマー 13:25-14:40	アアルト 11:35★13:30	バカ塗りの娘 11:35-13:40						岡本太郎 12:25★14:40	イザイホー 12:45★13:20				福田村事件 12:25-14:50		
福田村事件 15:00-17:25	福田村事件 14:50★17:15	福田村事件 14:00-16:25						福田村事件 15:30-17:55	岡本太郎 14:10★16:35				アアルト 15:10-17:05		
オオカミ+骨 17:45-19:05	バカ塗り 18:35-20:40	オオカミの家+骨 17:20-18:40						アアルト 18:15-20:10	バンクシー 16:55-18:55	アアルト 17:25-18:45				バカ塗りの娘 17:25-18:30	
アアルト 19:25-21:20	オオカミ+骨 21:00-22:20	アアルト 19:00-20:55						バンクシー 20:30-22:30	まちむすび 19:30★21:05	バンクシー 19:05-21:05				バンクシー 19:00-21:00	

※9:30~オープン
 ※開場は開演10分前です
 ★…イベント
 ■…サービスデー

○ **ほとり座 料金表**

一般	: 1,900円	会員	: 1,200円
シニア	: 1,300円	ペア50割	: 1,200円 ※1
学生・U20	: 1,000円	障がい者	: 1,000円 ※2
小中高生	: 500円	月曜サービスデー	: 1,300円 ※3

※1. どちらかが50歳以上であり2人連れの場合
 ※2. 障がい者手帳ご提示ください(付き添いの方1名様まで同一料金)
 ※3. 月曜サービスデー会員様Wポイント廃止
 ※作品により特別料金設定になる場合もございます
 ※未就学児の方は無料です

W マークの作品は、曜日に関係なくWポイント

〈シネマ予約〉
 2023年1月より、映画鑑賞のご予約は不要となりました。
 なお、イベント上映のみご予約を承ります。

○ **ほとり座 会員サービス**

入会金: 500円 年会費: 一般2,000円/シニア(60歳以上)1,500円

割引価格で観れる! ポイントが貯まる! マンスリーガイドが自宅に届く!

○ **アクセス・駐車場**

アクセス: 富山駅/徒歩20分
 市内電車/グランドプラザ前駅より徒歩3分/中町駅より徒歩2分
 路線バス/総曲輪停留所より徒歩2分

入口: 西別院側/1F地場もん屋総本店側
 ※地場もん屋営業時間(10:00~18:30)外は、西別院側をご利用ください。

駐車場: 鑑賞料1,000円以上ご利用で、各種サービス関係なく提携駐車場グランドパーキング駐車券400円分をお渡しいたします。



〒930-0083 富山県富山市総曲輪3-3-16ウィズビル4F
 TEL : 076-422-0821 ※ライブホール貸出などのお問合せ(担当:瀬尾)まで
 Mail : info@hotori.jp Web : https://hotori.jp/



10月 2023

富山県立近代美術館 CINEMA & LIVE

ほとり座



サントメール ある被告

9/23 - 10/6

[2022 / フランス / 2時間3分]
監督: アリス・ディオップ
出演: カイジ・カガメ / ガスラジー・マランダ



真実はどこ?あなたは誰?

フランス、サントメール。若き女性作家ラマは、生後15ヶ月の娘を海辺に置き去りにし、殺人罪に問われた女性ロマンスの裁判を傍聴するが、何が真実かわからない。裁判はラマに、“あなたは母親になれる?”と問いかける。その行方は—。



さらば、わが愛 (第46回カンヌ国際映画祭)

9/23 - 10/6

[1993 / 中国・香港・台湾 / 2時間52分]
監督: チェン・カイコー 出演: レズリー・チャン / コン・リー / チャン・フォンイー

夢のような永遠の瞬間をあなたと歩んだ—

京劇の俳優養成所で兄弟のように支え合ってきた2人の少年。成長した彼らは、蝶衣と小樓として人気の演目「霸王別姫」を演じるスターに、蝶衣が秘かに思いを寄せていた小樓は娼婦の菊仙と結婚してしまう。やがて彼らは奇詭な運命に翻弄されていく。



almost people

9/30 - 10/6

[2023 / 日本 / 2時間20分] PG12
監督: 横浜聡子 / 石井岳龍 / 加藤拓人 / 守屋文雄 出演: 嶺豪一 / 柳英里紗 / 井之脇海



もうすぐ人間

あらかじめ『感情』の欠けた神尾家の4人のきょうだい「喜び」を感じない長男。「怒り」がないことに葛藤する長女。「楽しさ」がわからない次男。「寂しさ」という感情がない次女。気悦の4人の監督が、4人きょうだいの日々をつむいだ物語。



未来は裏切りの彼方に

10/7 - 10/13

[2019 / スロバキア / 1時間38分]
監督: ベテル・マガート 出演: アリシア・アグネソン / ラ克蘭・ニーボア

人を守るため、嘘を吐き、そして裏切る

1944年、スロバキア第一共和国。第二次世界大戦下、娼館を後に部隊から脱走した兵士は、流産後田舎の工場に働く妻の元に身を寄せ、妻と共に工場働き始める。しかし、娼館にいた謎の美女が工場経営者と結婚するために村にやってきて...

Chantal Akerman

ジャンタル・アケルマン映画祭 2023



9/23 - 10/6 (日替わり上映)

既成の映画ルーティンをことごとく破壊し、観る者を全く新しい地平へと誘う映画監督、ジャンタル・アケルマン。昨年、イギリス映画協会が10年ごとに選出する「史上最高の映画」にて代表作『ジャンヌ・ディエルマン〜』が見事1位に輝いた。そんな彼女の特集が昨年に続き今年も開催。初公開の5作品も加えたラインナップ。



ジャンヌ・ディエルマンブリュッセル1080、コメルス河畔通り23番地

[1975 / ベルギー / 3時間20分] (2022年「史上最高の映画」ベストワン)
出演: デルフィヌ・セリグ
ジャンヌは思春期の息子と共にブリュッセルのアパートで“平凡な”暮らしをしていたが... 反日常の訪れを予感させる恐ろしい空間を作り出す傑作。



ゴールデン・エイティーズ

[1986 / ベルギー・フランス・スイス / 1時間36分]
出演: デルフィヌ・セリグ

美容院やカフェが並ぶパリのカラフルなブティック街を舞台に、そこで働く従業員たち、客たちが恋模様を歌い上げるミュージカル。



東から

[1993 / ベルギー・フランス / 1時間55分]
※日本語字幕無し

ポーランドやウクライナ、東ドイツといった、ソ連崩壊後の旧共産主義国の都市と暮らす人々のドキュメンタリー。



囚われの女

[2000 / フランス / 1時間57分]
出演: スタニスラス・メラール / シルヴィ・テスチュール

恋人のアリアーヌとともに豪邸に住んでいるシモンは、アリアーヌが美しい女性アンドレと関係を持っていると信じ込み、次第に強迫観念に駆られていく...



オルメイヤーの阿房宮

[2011 / ベルギー・フランス / 2時間7分]
出演: スタニスラス・メラール

東南アジア奥地の河畔にある小屋で暮らす白人の男オルメイヤー。彼は娘を溺愛し外国人学校に入れるが、娘は父親に反発するように放浪を重ねていく...



国葬の日

10/7 - 10/20

[2023 / 日本 / 1時間28分] 監督: 大島新



舞台挨拶

2022年9月27日—私たちは何を見たのか?

「なぜ君は総理大臣になれないのか」「香川1区」などの大島新監督最新作。日本武道館で執り行われた安倍晋三元首相の国葬。その賛否を問う世論調査の結果は、各社ともおおそ賛成4割、反対6割。なぜ人々の意見はかくも激しく対立したのか?あの国葬は、果たして何だったのか?その当日に10都市で取材を敢行し、国葬や安倍元首相という人物について、人々のリアルな思いを映し出したドキュメンタリー。

映画に出てくる人たちの語る言葉は、あるものは軽く、あるものは重い。あるものは浅く、あるものは深い。感情豊かな人の言葉はわかりにくくても身体にしみる。現実を動かすのは、たぶんそういう言葉だ。
— 内田樹 (思想家・武道家)

過半数を超える人々が賛成しなかったのに、それは行われた。その日をそれぞれに生きた人々の映像が問いかけてくる。「あなたはまだ覚えていますか?」
— プレイディみかこ (ライター)



ことの次第 4Kレストア版

10/14 - 10/20

[1982 / 西ドイツ / 2時間1分] (第39回ヴェネチア国際映画祭 金獅子賞)
監督: ヴィム・ヴェンダース
出演: パトリック・ボーション / イザベル・ヴェンガルテン / サミュエル・フラー

古典SF映画のリメイクは資金難で中断、ポルトガルのシントラ海岸で立ち往生した撮影クルーの停滞と苦悩を描いたハリウッド映画へのオマージュ。F・コッポラに招かれて撮影した『ハメット』と並行して制作され、当時のヴェンダースの苦い経験が色濃く反映されている。



オオカミの家

10/14 - 10/27

短編『骨』と併映
[2018 / チリ / 1時間14分]
監督: クリストバル・レオン / ホアキン・コシーニャ
眠るのは嫌い 夢を見るから
実在したコミュニ「コロニア・ディグニダ」に着想を得たストップモーションアニメ。チリ南部の集落から脱走し、森の一軒家で2匹の子ブタに出会う少女。やがてオオカミの音が聞こえてくると子ブタは恐ろしい姿に変わり、家は悪夢のような世界に。



福田村事件

10/21 - 11/3

[2023 / 日本 / 2時間17分] PG12
監督: 森達也
出演: 井浦新 / 田中麗奈 / 永山瑛太 / 東出昌大 / コムアイ

舞台挨拶

関東大震災から100年 今見たことを、伝えたい

「A」「A2」「i」新聞記者ドキュメントなど、数々の社会派ドキュメンタリー作品を手がけてきた森達也初の劇映画作品。1923年、朝鮮による虐殺事件を目撃した澤田智一は、教師をしていた日本統治下の京城を離れ、妻とともに故郷の福田村に帰ってきた。同じ頃、沼部新助率いる葉売りの行商団は、関東地方へ向かうため四国の讃岐を出発する。長閑な日々を打ち破るかのように、9月1日、関東地方を大地震が襲う。流言飛語が飛び交い多くの人は大混乱に陥った。福田村にも避難民から「朝鮮人が集団で襲ってくる」との情報もたらされ、そして9月6日、偶然と不安、恐怖が折り重なり、後に歴史に葬られることとなる大事件が起きる。これは単なる過去の事件では終われない、今を生きる私たちの物語。



ロック、ストック&トゥー・スモーキング・バルブルズ

10/7 - 10/13

[1998 / イギリス / 1時間48分] (特別料金) 一律1,600円 (月曜サービステイ各種割引適用外)
監督: ガイ・リッチー
出演: ジェイソン・フレミング / デクスター・フレッチャー / ニック・ラモン

イギリスの鬼才ガイ・リッチーが1998年に発表した長編デビュー作。ロンドンの下町で暮らす悪友4人組は、ギャンブルで裏にハマり借金を負ってしまう。返済期限は1週間。絶体絶命の中、隣人のギャングがマリファナ工場の襲撃を計画をしていることを知り、麻薬を横取りしようと画策する。



ふたりのマエストロ

10/7 - 10/20

[2022 / フランス / 1時間28分] PG12
監督: プリュノ・シシュ
出演: イバン・アタル / ビエール・アルディティ / ミュウ＝ミュウ

父が生涯をかけて抱んだオファーは息子宛の誤報だった—

パリのクラシック界で指揮者として活躍する父フランソワと息子ドニ。ある日父に、世界最高峰のミラノ・スカラ座の音楽監督就任の依頼が。ドニは素直に喜ばずにいたが、実は息子への依頼の誤りだった。息子が父を超えるとき、何を想うのか。



AALTO

10/21 - 11/3

[2020 / フィンランド / 1時間43分]
監督: ヴィルヒ・スータリ 出演: アルヴァ・アアルト / アイノ・アアルト

トークイベント

人に寄り添うデザインは、いかにして生まれたか。

フィンランドを代表する建築家・デザイナー、アルヴァ・アアルト。「スツール60」や「アアルトベース」、「ルイ・カレ邸」など、優れたデザインと数々の名建築を生み出した。そんな彼のデザイナーとしての人生を突き動かしたのは、最初の妻、アイノだった。彼女との手紙のやりとり、同世代を生きた建築家や友人たちの証言などを通し、アアルトの知られざる素顔を躍動感溢れるタッチで描き出す。



MYANMAR DIARIES

10/21 - 10/27

ミャンマー・ダイアリーズ
[2022 / オランダ・ミャンマー・ノルウェー / 1時間10分]
監督: ミャンマー・フィルム・コレクティブ

Wポイント

世界に向けた“命がけのSOS”

民主化へ向けて変革が続き、人々が希望を抱き始めていたミャンマー。しかし自由と穏やかな暮らしは突如として奪われた。10人の映画監督が制作した短編作品と、SNSに投稿された一般市民による記録映像で抑圧された日常を生々しく映し出す。



バカ塗りの娘

10/21 - 11/3

[2023 / 日本 / 1時間58分] 監督: 鶴岡慧子 出演: 堀田真由 / 小林 薫

舞台挨拶

ひたむきに塗る。ひたむきに生きる。寡黙な津軽塗職人の父・清史郎と継ぎたいことを堂々と言えずにいる引込み思案の娘・美也子。つらい時、楽しい時を塗り重ねるように日々を生きる父娘が、津軽塗を通してバラバラになってしまった家族の絆を繋いでいく。



バンクシー 抗うものたちのアート革命

10/28 - 11/3

[2020 / イギリス / 1時間53分]
監督: エリオ・エスパーニャ 出演: バンクシー / ジョン・ネーション / フェリックス・ブラウン

破壊か? 創造か?
イギリスを拠点に覆面グラフィティアーティストとして世界的に知られるバンクシー。しかし、彼の正体は謎に包まれたまま。少年時代を知る人物や、共に活動してきたアーティストたちへのインタビューなど、知られざる一面に迫る。



ドキュメンタリー映画 10/28・29

岡本太郎の沖縄 完全版

[2022 / 日本 / 2時間7分]
監督: 葛山喜久 語り: 井浦新

一つの恋のようなものだった

芸術家・岡本太郎は、1959年と1966年に沖縄へ旅に出た。日本人とは、自分自身とは何か答えを求めてたどりつたのが、沖縄であった。旅路を追体験し、今の私たちに投げかけるものを確かめていく。再構成・再編集された完全版。

映像でめぐる
自然と人びと、暮らしの記録
富山民藝協会・ほとり座 共同企画



イザイホー 1990年久高島の女たち

[1991 / 日本 / 30分]

『岡本太郎の沖縄 完全版』 10/28(土) 12:25-上映後
葛山喜久監督 舞台挨拶 10/29(日) 14:10-上映前

○ 葛山 喜久 雑誌編集、映像プロデュース、大学職員を経て、主にドキュメンタリー映画を企画・製作。「ダライ・ラマ法王 沖縄訪問の記録」、「His Holiness the 14th Dalai Lama ~ Power of Compassion ~」ほか。

トークセッション 10/29(日) 『イザイホー 1990年久高島の女たち』上映後

登壇者 ○ 葛山 喜久 ○ 広瀬 徹也・林 悠介 (富山民藝協会)